

# SPSS による因子分析のアウトプット (<http://youtu.be/cTHR8IUbdGg>)

共通性

	初期	因子抽出後
国語	.285	.400
英語	.306	.423
社会	.393	.593
数学	.427	.619
理科	.432	.551
技術	.395	.509

各観測変数の共通性

因子抽出法: 重みなし最小二乗法

回転前の因子の寄与

回転後の因子の寄与

相関行列の固有値

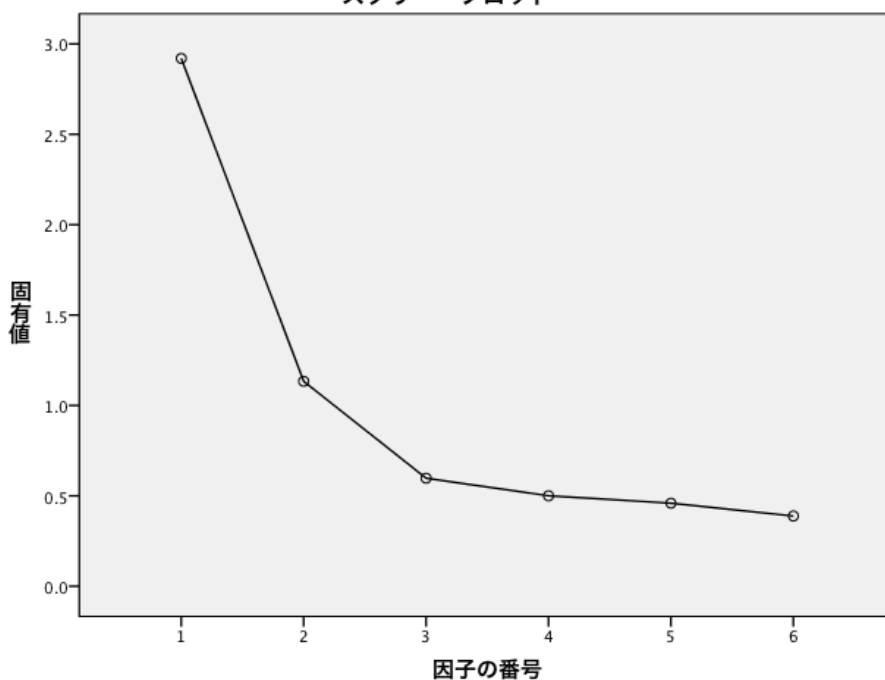
説明された分散の合計

因子	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和			回転後の負荷量平方和 <sup>a</sup>
	合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %	合計
1	2.920	48.666	48.666	2.448	40.798	40.798	2.133
2	1.134	18.896	67.562	.648	10.798	51.596	1.973
3	.598	9.960	77.522				
4	.500	8.341	85.863				
5	.460	7.659	93.521				
6	.389	6.479	100.000				

因子抽出法: 重みなし最小二乗法

a. 因子が相関する場合は、負荷量平方和を加算しても総分散を得ることはできません。

スクリー・プロット



初期解 (回転前の因子負荷量)

因子行列<sup>a</sup>

	因子	
	1	2
国語	.529	.346
英語	.565	.321
社会	.674	.374
数学	.685	-.388
理科	.702	-.241
技術	.658	-.277

因子抽出法: 重みなし最小二乗法

a. 2 個の因子が抽出されました。4 回の反復が必要です。

回転後の因子負荷量

パターン行列<sup>a</sup>

	因子	
	1	2
国語	-.031	.649
英語	.018	.640
社会	.030	.753
数学	.830	-.080
理科	.687	.091
技術	.697	.029

因子抽出法: 重みなし最小二乗法

回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

a. 3 回の反復で回転が収束しました。

共通因子間の相関

因子相関行列

因子	1	2
1	1.000	.564
2	.564	1.000

因子抽出法: 重みなし最小二乗法

回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

回転後の因子空間の因子プロット

